

2016 年度

学校評価 結果報告書

学校法人金剛学園

金剛学園小学校

2016 年度 金剛学園小学校 学校評価

1. 目指す学校像

本校は韓国系国際学校であり、在日韓国人、日本人、韓国からのニューカマーなどの児童が在籍している。それぞれ生まれ育った環境や国籍は違うが、韓国と日本の文化を学び、お互いの文化や背景の違いを尊重しながら国際人意識を深め、地域社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

- ・豊かな国際感覚の育成
- ・温かい心、人間性の育成
- ・確かな学力の育成

2. 中期的目標

1.国際社会に適応できる実力を育てる。

- ① 英語の会話能力を向上させる。また英語検定力試験対策を行い、より高い資格を習得できるようにする。
- ② 国語の会話能力を向上させる。また韓国語能力試験対策を行い、より高い資格を習得できるようにする。
- ③ ICT 機器を各授業で活用することによって ICT 教育を通して習熟度を上げる。

2.望ましい人間性を育む。

- ① 礼儀正しく、規則を守り、基本的生活習慣を持つ子どもを育てる。
- ② 人権教育の推進を図り、相手の立場を理解できる思いやりのある豊かな人間性を育む。

3.基礎学力の定着と学力向上を目指す。

- ① 基礎・基本となる学力の定着を図る。
- ② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得出来るように教材研究をする。

4. 児童募集に力を入れる。

- ① 本校入学希望者の人数を増やす。
- ② 本校の広報活動に力を入れる。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

<p>自己評価アンケートの結果と分析 〔2017年2月6日（月）実施〕 ～達成状況及び取り組み状況～</p>	<p>学校評価委員会からの意見 【学校関係者評価委員会報告】</p>
<p>○児童のアンケート結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施：2017年2月6日(月) ・回答：59名/61名 回答率97% <p>・友だちと仲良く過ごし、楽しく学校生活を送っている姿が回答からうかがうことができる。</p> <p>・安全については、地震津波・火災訓練を通して、学習できていると答えた児童が多い。災害が起きた場合は学習が生かされるよう、来年度は年3回以上の訓練や研修を実施し取り組んでいきたい。各教室にヘルメットを常備して緊急時には即着用できるようにしている。</p> <p>・昨年度から導入された電子黒板やタブレットを使った授業は低学年が100%楽しいと答えている。導入した電子黒板やタブレットをより活用して楽しく分かりやすい授業が展開できるよう教材研究しなければいけない。</p> <p>・健康面においては、遅くまで起きている児童が去年は29%だったのが今年度は33%と増えていて改善されていない。来年度の目標として生活リズムが崩れているといけない理由をしっかりと理解させるように引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>・今年度の取り組みとして正しい姿勢で元気に挨拶ができるように目標を立てた。週番生が毎朝登校時に声かけを行うあいさつ運動を実施した結果、昨年度よりは挨拶がきちんと出来る児童が増えてきた。全校生が全員挨拶を自主的にできるよう来年度も力を入れて取り組んでいきたい。</p> <p>・3年目になる全学年縦割り活動では、高学年がリーダーシップをとる姿がいろいろな行事で見られるようになった。縦割り活動の成果が表れていると思われる。来年度も縦割りのパターンを多様化して活動していきたい。</p> <p>○保護者のアンケート結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施：2017年2月6日(月)～2月9日(木) ・回答：79世帯/83世帯 回答率95% <p>・アンケートの結果37項目中、今年度の満足度70%以下は1項目、満足度90%以上は16項目から29項目と満足度の高い評価を得ることができた。</p> <p>・「他校にない独自の教育活動を行っている」の項目は95%、「学校は全教職員で協力し合い教育活動を行っている」の項目は93%の保護者が満足している、と高い評価を頂いた。これは、独自の教育活動についての情報がホームページやフェイスブック、学級通信、案内文などを通して発信した結果だと考えられる。</p> <p>・学習面においては、きめ細やかな指導を行うために算数、英語は週3時間の1/3hの授業を2人制(ティーム・ティーチング)、韓国語の授業を本国班・中級班・初</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日：2017年3月17日(金) ・場所：本校 会議室 ・出席者：学校関係者評価委員5名 PTA会長、PTA副会長、PTA幹事長、校長、教頭 <p>・保護者のアンケート回答の評価水準は高く、満足していることがうかがえた。</p> <p>・児童が学校生活を楽しく過ごせるよう、様々な行事や活動を企画・計画して遂行している。全教師の熱心な教育活動により、まとまった運営がなされている。</p> <p>・学習面において教師は「わかりやすい授業」に努めている。</p> <p>が、児童の回答は満足度68%である。このずれは何が原因なのかしっかりと検討してほしい。</p> <p>・来年度新入生が少ないので広報活動をしっかり行い、児童募集に学校、保護者が力を集結して取り組む必要がある。</p> <p>(1) 学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や教師が本校の教育方針や独自の教育活動について関心を持ち、互いに信頼関係を築いていることがうかがえる。 ・リアルタイムに授業の様子や行事活動をフェイスブック、ホームページを通し発信しているのは高く評価する。また学級通信、案内文などを通して学校の

級班と3班に分けて授業を展開している。

- ・本校独自の特色のある教育の一つである韓国の文化を習得・学習する機会を設けていることについて、昨年同様に保護者は高く評価している。
- ・英語の授業に対しての満足度は昨年と同様71%であった。今年度から5~6年対象に英語検定を受検することにした。来年度の目標は4年も対象にして全員5級~3級全員合格を目指し取り組んでいきたい。また、全学年をregularクラスとupperクラスの2クラス編成で習熟度にあわせた授業を展開する。
- ・いじめや不登校のない学級作りに取り組んでいるという評価は86%と高い。学年を超えて日々いろいろな問題が起きているが、教職員が情報を共有し、これからも児童一人ひとりにきめ細やかな観察・指導を徹底して、全員が安心して登校できるように配慮と支援をしていきたい。
- ・設備面においては、充実した授業が出来るように整備されていると高く評価されている。
- ・安全面においては、校舎前が海に面しているので保護者の心配が大きい。学校ホームページを通して、津波・地震が起きた時の対策や避難訓練の内容を伝えるなど安心してもらえるよう働きかけ90%という高い評価を得ている。災害時に最低限必要な備蓄品も準備している。
- ・下校時にはスクールバス添乗時のシートベルト装着指導、教師引率のもと集団下校するなど安全面に配慮していることが高く評価されている。常に危機管理意識を持ち続けるように心がけたい。

〈来年度に学校で取り組むべき課題〉

- ・今年度同様、つまづきを的確に把握してきめ細やかな指導を行い、学力が向上するよう指導する。
- ・韓国語・英語で「会話ができる児童」を育てる。
- ・自分の意見や考えをきちんと伝えられるような授業の取り組みをする。
- ・教材研究をしっかり行い、楽しくわかりやすい授業を目指す。
- ・学校の1日のスケジュールがタイトなため、なかなか教師に相談できる時間が持てないことが、わからないことや困ったことを相談できない原因のようだ。昼食時間の休み時間を増やすことや、相談箱設置や手紙で相談する等、検討する。
- ・避難訓練の回数を増やし、災害時にスムーズに行動出来るように津波・地震対策を強化する。
- ・誰に対しても、大きな声で元気よくあいさつができるように指導する。
- ・電車マナーを守れない児童は約束を決めて、少しずつ守れるように指導する。守れない場合は、通学車利用に変えてもらう等の処置も通達する。また、保護者に密に連絡をとり、家庭で指導をしてもらうなど協力を要請する。

〈家庭に対して望むこと〉

- ・宿題や準備物を忘れないように連絡帳や時間割をチェックする。
- ・早寝・早起きを基本に、生活リズムを整え、日常生活において挨拶教育をする。
- ・学校のことを家庭内で話す機会を増やす。
- ・家庭学習の習慣化を図る。
- ・学校の指導だけでは難しい場合は家庭でも指導をして協力する。

情報を公開し透明性を維持している。

- ・全教師間の相互理解がなされ、熱心な教育活動が行われている。
- ・危機管理においては、昨年度指摘した学校安全マニュアルを作成して改善された。円滑に対応できるように教職員は確認し、常に危機意識を持ち続けるよう心がけてほしい。津波や地震対策の備蓄品の補充を検討してほしい。

(1) 教育内容

- ・昨年、英語の授業を週3時間行っている成果が実感出来る取り組みをしてほしいと課題を出した。今年度、5~6年対象に英語検定を受検したことで英語教育の成果及び実力を実感できた。続けて実施してほしい。
- ・算数2人制(ティーム・ティーチング)や夏休み集中補習授業、週1回の補習授業は、学力向上及び課題のある児童の学習理解に大きな助けになり、きめ細やかな指導がされていると高く評価する。
- ・基本的な生活習慣の定着は学校の指導だけでは難しい。家庭でも生活習慣に関心を持ち、両面から変えていくことが大切だ。

(2) 生活指導・児童支援

- ・家庭と学校が密に連絡を取り連携を取り合っていて、保護者と教師間の信頼関係が高いと評価する。
- ・児童一人ひとりを全教師で見守る様子がよくわかり、安心して

○教職員 自己評価

(1) 学校運営

- ・おおむね良好で、建学の精神や教育目標については理解し、それに基づいた様々な取り組みがなされた。
- ・昨年に引き続き、教職員連携は教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われた。
- ・情報公開においては、積極的に授業や行事の様子をフェイスブックやホームページを通してリアルタイムに発信し、情報提供に努めた。
- ・危機管理については、下校指導（集団下校2回）や通学车添乗及びシートベルトの着用指導をしっかりと行っている。避難訓練や緊急時の担当及び役割分担が明確になり迅速に対応出来るようにマニュアルを熟知する努力が必要だ。

(2) 教育内容

- ・おおむね良好である。
- ・本校独自の特色の一つである民族的な行事を通してアイデンティティ教育の取り組みはされている。
- ・語学教育については、韓国語の授業は習熟度別に3班分けを実施し、効果をあげている。英語は今年度から5~6年に5級英語検定受検を試みた。韓国語能力検定試験、漢字能力検定、英語検定などの取り組みを行い、高い目標達成のためにきめ細かな指導、教材研究など更なる改善が必要だという意識を持つ。
- ・電子黒板やタブレットを活用することで幅広い授業が展開された。全教職員がスキルアップできるように取り組んでいきたい。
- ・情報のモラルや人権教育について講習を行い、指導時に活用できた。
- ・縦割り活動や異学年交流はお互いを知り、思いやる関係をもつことに大きな成果があり、リーダーシップが取れる人材育成に役立ったと評価した。
- ・ボランティア活動としては、ネパールのサピング村の学校支援募金活動や粗食日を設け老人ホームに車いすを寄贈、慰労訪問するなど、様々な活動に取り組めた。
- ・クラブ活動・学校行事・スポーツ・芸術文化活動に対する取り組みは活発に行われているとすべての教員が評価している。

(3) 生活指導・児童支援

- ・生活指導については、問題が起きた場合、教師がグループを組み、協力し合って行われた。家庭とも密に連絡を取り連携は良好であると高く評価している。
- ・基礎学力の定着については、反復学習、放課後補習授業や夏休み集中補習授業、教師2人制を実施することにより成果があったと評価している。
- ・補習を通し、習熟度が低い児童に対する対策をとっているが不十分であり、目標達成のために粘り強い指導が必要である。
- ・個人の能力に合わせて積極的に行っている。
- ・支援が必要な児童に対して個別に支援計画を立て、全教員が共有して指導していく体制を整えた。

(4) 教員研修・資質向上

- ・来年度は校内研究授業を実施するよう計画を立て、教員の資質の向上を図ることが求められる。
- ・ICT関連研修、アクティブ・ラーニング等の研修に積極的に参加する。

任せられる。

- ・保護者の価値観が多様化していて問題解決が難しい場面がある。保護者間で解決しようとするとならばトラブルが発生する可能性があるため、必ず学校を通して解決するようにする。
- ・生活指導で支援が必要な児童の対応についてはカウンセラーと連携がしっかりと取れていて安心できる。

(4) 教員研修・資質向上

- ・各自持っている情報を共有することで授業の質を高めていくことが必要である。スキルを向上させるために教師がより高い意識を持ち積極的に研修が参加できるように学校が計画を立てて推進してほしい。
- ・各教室に設置された電子黒板やタブレットを活発に活用した授業が行われている。高度な技術や情報を習得出来るように研修計画を立て、学力向上を目指す努力をしてほしい。
- ・各学年単学級のため教師一人に対する業務の量が多く、教材研究が充分にできない。教師の補充を行うなど具体的な対策を検討する必要がある。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 国際社会に適応できる実力を育てる	<p>1. 英語の会話能力を向上させる。</p> <p>2. 韓国語の会話能力を向上させる。</p> <p>3. 情報教育を推進する。</p>	<p>1. ・英語の授業を全学年3時間確保する。週1/3時間を教師2人制のTTで授業を進める。</p> <p>・後期から授業を1年、3年は2班に編成する。</p> <p>・5~6年は英語検定5級以上の合格を目指す。</p> <p>2. ・能力に応じた3班編成で授業を実施。</p> <p>・日常生活は韓国語で会話が出る力を養う。</p> <p>・韓国語能力試験の対策を行いより高い資格を習得できるようにする。</p> <p>・学校内では出来るだけ韓国語で話すように指導する。</p> <p>・タブレットを使う授業を増やす。</p> <p>・1~2年の算数は韓国語イマージョン教育を導入する。</p> <p>・韓国に触れる機会を作る。</p> <p>・コンピューターの授業でエクセルやワードを活用できる能力を養う。</p> <p>・教職員のパソコンスキルの上をを図る。</p> <p>・電子黒板やタブレットを有効に使えるように研究し、教師間で情報を共有する。</p>	<p>1. ・1~3年は歌やゲーム・カードを中心に興味を持って楽しく参加できるように授業を展開する。</p> <p>・1年、3年は後期から1学年を班に2編成して、個人の能力に合わせた指導をする。</p> <p>・4年~6年の英語の授業は1/3時間を英語検定対策中心の授業展開にする。能力にあわせて3班に分け授業を行う。</p> <p>2. ・初級/中級/本国班と自分の能力に合った授業を受けることで会話能力向上を目指すことに努める。</p> <p>・夏休みに補習授業を行い、領域別・級別に細かい指導を行う。</p> <p>・9月に授業で能力試験の過去問題の取組を行う。</p> <p>・4~6年全児童参加の校内ウリマルイヤギ大会（韓国語弁論大会）を実施する。</p> <p>・日常に必要な韓国語の習得に努める。（数、時間、天気、簡単な文章など）</p> <p>・韓国の大学生によるプログラムを展開して韓国語を使う場面を設定する。</p> <p>3. ・コンピューターを使うことでいろいろな知識が広がり、また活用することで生活が便利になることを教える。</p> <p>・教師の研修実施 「電子黒板・タブレット」研修 「ICT機器活用セミナー」参加</p>	<p>・2人制授業をすることでついていけない児童のフォローができ、効果がみられた。</p> <p>・英会話力に差があり、能力別に授業を編成することで満足度の高い授業が展開できた。</p> <p>・英語検定合格の格率が高かった。</p> <p>能力別に3班分けの授業を実施した効果があった。来年度は4年から英語検定を受検する。</p> <p>・授業で電子黒板やタブレットを使う等、多様な教材を活用した結果、授業を楽しく受けている児童が増え、会話能力が向上する効果がみられた。</p> <p>・受験者38名中32名（84%） 1~2級28名、4級2名、5級1名、5級1名が合格。</p> <p>・2回目になる校内ウリマルイヤギ大会に4~6年生が積極的に臨む事が出来た。韓国語の弁論大会を通し、一人一人が実力を発揮できた。</p> <p>・聞く力をつけることができた。</p> <p>・韓国語しか通じない場面が潜在能力を引き出した。</p> <p>・パソコンを使ってポスター・簡単な表・グラフなどが作れるようになった。</p> <p>・教師のパソコンスキルの上をに力を入れることができた。</p> <p>・児童が電子黒板に書き込む作業を多く取り入れることができた。</p>

<p>1. 礼儀正しく、規則を守り基本的生活習慣を持つ子どもを育てる。</p> <p>2. 人権教育の推進を図る。</p>	<p>1. ・すすんで正しい姿勢で元気よく挨拶ができるように指導する。</p> <p>・早寝、早起き運動を推進する。</p> <p>・登下校のマナーを守ることや安全について指導する。</p> <p>・身の回りの整理整頓を指導する。</p> <p>・時間を守れるように指導する。</p> <p>2. ・いろいろな活動を縦割り班で行い、思いやりや協調性を養う。</p> <p>・異学年交流を行い、リーダー育成を図る。</p> <p>・人権講演会や人権学習を通して、相手の立場を理解する豊かな人間性を育てる。</p> <p>・カウンセラーによるいじめや仲間作りの授業を計画する。</p>	<p>1. ・全校朝礼で挨拶指導を行う。</p> <p>・週番生が毎朝登校時に声をかけることであいさつが出来る児童を増やす。</p> <p>・定期的に早寝・早起きの状況を確認する。</p> <p>・科学的な根拠を学習することで、大切さを理解し、実行できる児童を増やす。</p> <p>・集団下校にホームまで教師が引率し、公共マナー指導を行う。</p> <p>・ICT 資料（映像やパワーポイント）を利用して具体的に指導する。</p> <p>・自分の持ち物をきちんと整理整頓できるように各教室で写真掲示指導を行う。</p> <p>・授業開始時間には着席しているように指導を行う。</p> <p>2. ・縦割り活動が円滑に行えるように縦割り班でレクリエーションを行う。</p> <p>・縦割り活動の場面を多く設定する。</p> <p>校外学習・林間学校・旧正月水泳訓練・金剛まつり体験学習・社会見学</p> <p>・異学年交流を通してリーダーとしての資質を育てる。</p> <p>・違いを認め自他ともに大切にすることを指導する。</p> <p>・いじめ研修、ワークショップ、エゴグラム実施及び分析、ネパール支援募金活動などを実施する。</p> <p>・自分を知り、相手の立場を理解できる豊かな人間性を育てるよういろいろな機会を作る。</p>	<p>・挨拶できる児童とできない児童の差が大きい。継続して指導を行わなければならない。</p> <p>・高学年になるほど生活習慣が崩れてくる傾向が見られるので、家庭と密に連絡を取ることが必要である。</p> <p>・教師がいる場合はマナーを守れるが、児童だけだと守れない場合が多い。根気よく指導する必要がある。</p> <p>・身辺整理が苦手な児童には整理しやすい方法を提示して支援する必要がある。</p> <p>・整理方法を全学年で統一する必要がある。</p> <p>・自ら時間を守る習慣をしっかりと持てるように指導する必要がある。</p> <p>・行事は児童中心に活動できるように配慮した。</p> <p>・縦割り活動を通して上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生にあこがれる関係を築くことができた。来年度もこの活動を推進する。</p> <p>・いろんな場面でリーダーの役割をすることで自信が持てた児童が増えた。</p> <p>・命の大切さを知ることで自尊感情を持つことができ、他人も大切にすることを学んできた。</p> <p>・自分を知ることで相手を理解する心を持つことができた。</p> <p>・携帯電話によるトラブルの学習を通して、正しい使用法を再確認できた。</p>
---	--	--	--

	<p>1. 基礎・基本となる学力の定着を図る。</p>	<p>1. ・算数は教師2人体制のTTで授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3~6年対象に週1回、放課後に補習(算数・漢字)を行い、学習に自信を持たせ学習意欲を高める。 ・5~6年を対象に夏休み集中補習授業(韓国語・国語・算数・英語)を実施し、一人ひとりの到達度にあつた指導を行う。 ・漢字指導に力を入れる。 ・反復学習の徹底 	<p>1. ・つまづいている児童をすぐに発見し、きめ細やかな指導を行うことで習熟度を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後補習は、習熟度の低い児童の縦割りクラスを設け実施する。 ・転編入してきた児童の語学力向上のためのクラスを設け、きめ細やかな指導を行う。 ・夏休み集中補習授業は、全教師指導体制をとり、少人数クラスで個人の到達度にあつた授業を実施し、学力向上を目指す。 ・3~6年対象に漢字能力検定を受検して漢字能力を高める。 ・計算ドリルやワーク、漢字練習の課題を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2人体制で授業を行う事で授業内容を理解しているか確認することができた。 ・基礎学力をつける事で学習に自信をもつ事ができた。 ・校内テストを年3回実施して児童の学力を把握し、到達度に達していない児童には個別指導を行うことができた。 ・漢字能力検定試験合格者 71名中62名 (合格率87.3%) ・課題を細かくチェックできたので、一人ひとりの苦手な課題を発見・克服出来た。
<p>3 基礎学力の定着と学力向上を目指す</p>	<p>2. 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得できるように教材研究をする。</p>	<p>2. ・各教科の研修に参加して指導力アップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数は各学年間の単元内容を共有する。 ・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を導入する。 ・電子黒板、タブレットを活用して、楽しく分かりやすい授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教師が研究した教材を全教師で共有することで教師の指導力を高める。 ・習熟度の低い児童がどの学年でつまづいているのか発見し、指導する。 ・アクティブ・ラーニングを実践する授業研修に参加して、学習したことを全教師で共有して授業に生かす。 ・電子黒板やタブレットを導入、活用することで学習意欲を高める。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 小テストや単語テストの結果をその場で確認する。 2. 復習問題をタブレットに送信して授業の再確認をする。 →レベルに合わせた復習が可能。 3. 漢字の書き順確認→全員で確認する。 4. 図形や地図、教科書の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・各授業で効果的に使えるよう教材研究をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にいろいろな研修に参加する姿勢がみられた。 ・積み重ねができていないと次の段階にいけないので、つまづきを発見することが重要だ。 ・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を意識せず実践していたことを確認できた。 ・電子黒板やタブレットを活用することで学習の幅が広がり、児童一人ひとりが積極的に授業に参加する姿が見られるようになった。 ・地図や図形等の板書の時間が短縮され、授業時間を有効に使えるようになった。 ・学習発表をするにあたり、いろいろな情報を検索して必要な資料を得ることができた。 ・授業のまとめとしてタブレットを利用するためには単元に合った内容の教材を作成して挿入しなくてはいけない。 →全教師で協議する。

2016年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート結果 (4～6年生)

・実施日：2017年2月6日(月)

・対象児童：61名(4年：18名 5年：21名 6年：22名) アンケート回答：59名 回答率：97%

A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

	設 問	A	B	C	D	無記入
1	学校に行くのが楽しい。	17	50	24	9	0
2	友だちと仲良くしている。	51	37	8	2	0
3	授業は楽しい。	11	37	37	15	0
4	授業中によく発表する。	10	20	51	19	0
5	授業はわかりやすい。	26	42	27	5	0
6	授業でわからないところについて、先生に質問しやすい。	12	26	48	14	0
7	家で学習や読書をしている。	20	22	38	20	0
8	宿題や準備物などを忘れない。	15	47	29	7	2
9	きれいな言葉づかいをしている。	5	34	54	7	0
10	大きな声であいさつをしている。	24	32	30	14	0
11	先生にいろいろなことを相談している。	3	12	36	46	3
12	学校でいろいろなルールを守る大切さを学んでいる。	26	39	32	3	0
13	きまりや約束を守っている。	14	44	35	7	0
14	命の大切さを学んでいる。	46	19	27	8	0
15	だれに対しても思いやりをもって接している。	14	49	29	8	0
16	友だちのがんばりや優しさに気づくことができる。	29	48	18	5	0
17	十分なすいみんをとっている。	20	34	24	22	0
18	毎日、朝ごはんを食べている。	59	19	12	10	0
19	運動会、校外学習、生活発表会、ノリマダンなどの学校行事は楽しい。	71	17	5	7	0
20	クラスや学校の仕事をがんばっている。	22	53	20	5	0
21	クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	50	24	13	13	0
22	安全に通学している。	58	30	10	2	0
23	地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかを学んでいる。	46	32	15	5	2
24	地域の清掃活動に進んで取り組んでいる。	15	32	26	27	0
25	学校からの連絡書をおうちの人にわたしている。	49	25	19	7	0
26	学校であったことをおうちの人に話している。	29	25	24	22	0
27	教室・特別教室・運動場などは使いやすい。	39	29	27	5	0
28	電子黒板やタブレットなどのICT機器を使った授業は楽しい。	51	27	17	5	0
29	韓国語の授業は楽しい。	22	17	36	25	0
30	英語の授業は楽しい。	22	42	12	24	0

2016年度 金剛学園小学校 学校評価 保護者アンケート結果

・実施日：2017年2月6日（月）～2月9日（木）

・対象：小学校保護者（83世帯） 回答：79世帯 回答率：95%

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

	設 問	A	B	C	D	無記入
1	学校の教育方針が明確である。	32	56	9	2	1
2	学校は、他校にない独自の教育活動を行っている。	65	30	4	1	0
3	学校は、教育活動や子どもの様子を、学級通信・ホームページ等を通してわかるように伝えている。	51	42	4	3	0
4	学校は、全職員で協力し合って教育活動に取り組んでいる。	46	38	15	1	0
5	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	25	53	19	3	0
6	教師は、きめ細やかな指導や支援をしている。	37	43	20	0	0
7	教師は、子どもの良いところや努力したことを評価している。	37	42	20	1	0
8	通知票は、子どもの学力や達成度についてわかるようにできている。	24	63	12	1	0
9	お子さんは、家で学習や読書をする習慣がついている。	20	43	32	5	0
10	宿題や課題などは、家庭学習が充実するよう工夫されている。	18	48	30	4	0
11	お子さんは、きれいな言葉づかいをしている。	14	50	34	2	0
12	お子さんは、きちんと挨拶をしている。	29	48	19	4	0
13	お子さんは、楽しく学校に通っている。	43	44	10	3	0
14	お子さんは、連絡帳などで宿題や準備物を確認している。	43	39	17	1	0
15	お子さんは、きまりや約束ごとを守っている。	32	51	16	1	0
16	お子さんは、学校でのできごとについて話をしている。	39	50	11	0	0
17	学校は、守るべきルールやマナーを教えている。	34	57	6	3	0
18	教師は、子どもの良い所をほめ、間違った行動は適切に指導している。	29	51	17	2	1
19	学校は、子どもたちが活躍する場がたくさんある。	27	58	11	4	0
20	学校は、学校生活で問題が生じたときに、迅速・的確に対応している。	30	47	14	9	0
21	学校は、健康・食事の大切さ・病気の予防について指導している。	23	63	11	3	0
22	学校は掃除が行き届いていて清潔である。	29	60	10	1	0
23	学校は、いじめや不登校のない学級づくりに取り組んでいる。	32	54	6	8	0
24	学校は、「命を大切に作る心」「豊かな心」が持てるように指導している。	28	56	13	3	0
25	学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている。	47	43	8	2	0
26	学校は、クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	43	42	14	1	0
27	お子さんは、安全に通学している。	51	39	8	2	0
28	学校は、子どもの安全管理・安全指導に力を入れている。	34	53	12	1	0
29	学校は、地震・火事などの対応について指導している。	38	52	8	2	0
30	学校は、保護者からの問い合わせや要望に対して適切に対応している。	41	41	15	3	0
31	学校は、行事や授業参観・懇談会などを通してお子さんの学校生活の様子がわかるような機会を設けている。	62	35	3	0	0
32	学校行事に積極的に参加・協力している。	32	45	22	1	0
33	教室・特別教室・運動場などは、使いやすいように整えられている。	35	61	3	1	0
34	授業でICT器機（電子黒板やタブレットなど）を活用している。	53	40	5	2	0
35	韓国語の授業に満足している。	27	44	23	6	0
36	英語の授業に満足している。	19	42	30	9	0
37	韓国の文化を習得・学習する機会が設けられている。	53	41	5	1	0

2016年度 学校自己評価個票 (No.1)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	設 問	A	B	C	D
				%	%	%	%
学 校 運 営	私学の独自性	建学の精神について	建学の精神が教職員、児童、保護者など学校関係者によく浸透している	31	54	15	0
		学校の教育目標について	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	23	69	8	0
		愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	38	54	8	0
	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	46	54	0	0
		教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	62	38	0	0
	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	31	54	15	0
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	23	69	8	0
		会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	23	62	15	0
	財務関係	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	8	46	38	8
		財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	8	46	38	8
		評議員・理事会機能について	評議員会、理事会の役割や機能について理解している。	16	38	46	0
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	61	31	8	0
		授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。	54	46	0	0
	危機管理	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	15	70	15	0
		危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	15	70	15	0
開かれた学校づくり	地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。	8	46	46	0	

2016年度 学校自己評価個票 (No.2)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	設 問	A	B	C	D
				%	%	%	%
教育 内 容	国際人教育	語学能力の育成	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	54	31	15	0
		アイデンティティー教育	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる児童の育成に取り組んでいる。	38	47	15	0
		国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	61	31	8	0
	情報教育	情報能力育成	児童の情報活用能力の育成を図っている。	31	61	8	0
		情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	31	69	0	0
	人権教育	研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	15	47	38	0
		教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	15	54	31	0
	環境教育	環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育を行っている。	23	54	23	0
		実践的態度の育成	児童に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	38	47	15	0
	健康・食育	健康・食に関する指導について	健康教育、食育などにも配慮している。	23	62	15	0
	生徒会活動	児童会活動支援状況	児童会活動を通じて、児童が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	23	54	23	0
		児童会活動の充実	児童会行事を活性化させるため、児童へ積極的な参加を促している。	15	47	38	0
	その他	読書推進	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	23	54	23	0
		部活動	部活動は活発である。	54	31	15	0
		ボランティア	ボランティア活動は活発である。	36	54	15	0
		学校行事	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	69	23	8	0
スポーツ・芸術文化		スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。	47	38	15	0	

2016年度 学校自己評価個票 (No.3)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D
				%	%	%	%
生徒指導・支援	生活指導	指導方針の一貫性	生活指導は学校の方針に従っている。	31	69	0	0
		生活指導について	児童の生活指導に組織的に対応する体制がある。	23	69	8	0
		安全教育と規範意識の高揚	校内巡視や登校指導、校外補導を定期的を実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	46	46	8	0
		家庭との連携状況	生活指導において、家庭との連携ができています。	46	46	8	0
	児童支援	学習指導について	学習指導において、児童の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。	38	54	8	0
		学習習慣の定着	テストや各種検定試験前に自主学習の時間などを設定し、学習習慣の定着に対する支援体制がある。	38	54	8	0
		カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	38	54	8	0
		進路指導について	児童一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	15	62	23	0
			進路決定への適切な情報伝達と支援体制が整っている。	23	54	15	8
		資格取得の充実	資格取得の支援体制が整っている。	47	38	15	0
教員研修・資質向上	教員研修	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	15	47	38	0
		校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。	15	39	46	0
		初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	23	38	31	8
		校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	23	46	31	0
		研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	15	70	15	0